

主よ、わたしたちの中にあって
進んでください

出エジプト記 34 : 9



司祭 ヨハネ 井田 泉

2022年1月1日

主イエス命名の日

上野聖ヨハネ教会にて

新しい年の初め。今日1月1日は、教会暦では「主イエス命名の日」です。

「八日たって割礼の日を迎えたとき、幼子はイエスと名付けられた。」ルカ 2:21

マリアはイエスの名を呼びました。ヨセフもイエスの名を呼びました。わたしたちもイエスさまの名前を呼んで、この1年を歩んでいきたいと願います。

今日の旧約聖書の1節を聞きましょう。

「主よ、もしご好意を示してくださいますならば、主よ、わたしたちの中にあって進んでください。確かにかたくなな民ですが、わたしたちの罪と過ちを赦し、わたしたちをあなたの嗣業として受け入れてください。」

出エジプト記 34:9

「主よ、わたしたちの中にあって進んでください。」

今日の旧約聖書日課にあったこの祈りを、この年のわたしたちの最初の祈りとしてしたいと思います。

「主よ、わたしたちの中にあって進んでください。」

「主よ」 最初に神さまに呼びかけます。わたしたちが呼びかける方は、先にわたしたちに呼びかけてくださった方です。

わたしたちを尊いものとして造り、招き寄せ、今日まで導いてくださった^{かた}方です。その方に向かってわたしたちは「主よ」と呼びかけます。

「わたしたちの中^よにあって」 他所^そではなく、ここに、わたしたちの中にいてください、主よ。主がわたしたちの中にいてくださらなければ、わたしたちは中心を失い、土台を失います。ばらばらになり、それぞれが間違っただけの方向へとさまよい出てしまいます。神さまに集められたわたしたちです。「わたしたちの中に」主がいてほしい。わたしたちの中にいてください。

そして「進んでください」 わたしたちは人生の道を好むと好まずとかかわらず進んで行かなくてはなりません。教会もまた、いろんな課題や葛藤を抱えつつも進んで行かなければなりません。神さまと一緒に進んでほしい。主よ、わたしたちをうずくませないでください。わたしたちを放置しないでください。わたしたちが神さまを忘れて勝手に進むのではなく、神さまに導かれて、神さまと共に進み行かせてください。主よ、進んでください。

この短い一文の中に、わたしたちに必要な三つの祈りが含まれています。

「主よ」

「わたしたちの中であって」

「進んでください」

出エジプト記の中でこの祈りをしたのはモーセです。遠い昔、イスラエルの民をエジプトから脱出させ、約束の地へと民を導こうとしたモーセが、こう祈りました。そのイスラエル、神の民は、いくたびも神さまに背きました。それがあまりにはなはだしく、神さまの忍耐の限度を越えてしまいました。神は「もうお前たちとは一緒に行かない」と言われました。人々はこれを聞いて嘆き悲しみ、身に付けた飾りを取り外し、みずからを悔い、全員立って礼拝した、と出エジプト記には書いてあります（出エジプト記 33:4,10）。

そのとき、モーセは民の罪が赦されるように、自分の命をかけて祈りました。

「今、もしもあなたが彼らの罪をお赦しくくださるのであれば……。もし、それがかなわなければ、どうかこのわたしをあなたが書き記された書の中から消し去ってください。」出エジプト記 32:32

赦されないのであれば、わたしの命を取り去ってください、とモーセは神に祈ったのです。

これに心を動かされた神は、「あなたがたと一緒に行く」とあらためて約束されたのでした。

わたしたちも、知っていて、あるいは知らずに、過ちを犯し、しかもそれを真剣に考えない、ということがあったかもしかかもしれません。礼拝で懺悔の言葉を唱えても、良心の痛みを感じないままに通り過ぎることがあったかもしかかもしれません。

けれども、このわたしたちのために、みずからの命をかけて祈ってくださる方がおられます。イエス・キリストがわたしたちのために祈ってくださいます。この方によって、わたしたちは赦され、癒やされ、そして自らを正されます。

わたしたちは今日、新しく出発します。

「主よ、わたしたちの中にあって進んでください。」

この祈りと共に新しい年を始めます。わたしたちのために祈ってくださる主イエスが、わたしたちの中にあって進んでください。

主なる神さま、この新しい年、わたしたちの中にあって進んでください。あなたの赦しと導きを受け、祝福に守られて歩ませてください。あなたと共に歩ませてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン